



あまみ



コクトくん

© Amami city

第43号

平成28年12月発行

市議会だより



金久中学校新体育館落成式



金久中学校新体育館



小湊小学校新校舎



小湊小学校新校舎落成式テープカット

第3回定例会

平成28年9月5日～10月7日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール: gikai@city.amami.lg.jp

第3回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～8P

定例会の主な議案、請願・陳情・・・・・・・・・・9P

常任委員会の審査概要・・・・・・・・・・10P

議員研修会・・・・・・・・・・11P

議会の動き・・・・・・・・・・12P

第三回定例会 一般質問

検索

九月六日、七日、八日、九日の四日間で十八名の議員が市政全般について市当局に問いいただきました。
要約を紹介します。
(質問順に掲載)

奄美市議会 議会録画配信

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取ることによって、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

2コア1モール構想の今後の方向性について

西 公郎

(自民新風会)



動画視聴



生活困窮者対策での社会福祉協議会との連携について

問 2コア1モール構想の今後の方向性について

答 子育て、保健、福祉の複合施設を平成31年度～32年度、公民館については平成32年度～33年度を予定している。

重要な連携なくして支援なしと言っても過言ではない。相談者が必要に応じて貸付制度が利用できるよう連携体制の維持向上に努めて参りたい。

その他の質問事項

問 若年定年自衛官の再雇用促進について

答 おがみ山トンネル、三儀山パイパス等、今後の方向性について

問 若年定年自衛官の再雇用については、防災の豊富な知識や被災地域での活動経験などが市の防災行政に活用できる可能性があることから、大変有意義であると考えている。

○奄美空港欠航便の解消について

○防災会館建設について

さとつきびの手取り

価格について

奥 輝人 (自由民主党)



動画視聴



問 さとつきびの手取り価格について、きび単価はトン当たり、約2万1000円台である。昭和60年代頃から現在まで変

わらない状況で、その間肥料や農薬、機械などコストが上昇している。奄美市で、助成事業や補助事業で農家負担軽減を図っているが所得向上につながっていないが価格のアップについて

答 農家の所得向上と生産意欲向上の為に、価格アップは必要不可欠。

沖縄県や他産地と連携し、さとつきび価格の向上に取り組んでいく。

問 奄美群島の交流を促進する為に、本年7月1日から、「沖縄・奄美連携交流促進事業」が始まったが、割引制度の中心について

答 通常期は、特便割引25%、先特割引40%、繁忙期(7/1～8/31)の割引率は、通常期と比較すると、特便割引で



サトウキビ夏植え状況

15%～24%であり、期間内において差が生じている。今回の制度における効果、検証を踏まえ検討すべき課題である。

奄美市総合計画前期

基本計画の検証について

関 誠之（社会民主党）



動画視聴



問 奄美市総合計画前期基本計画の検証について

答 平成32年目標である人口5万人、交流人口45万人、総生産額1400億円の評価については、総合計画策定10ヶ年の経過を踏まえて行うことになる。

問 3指標の現況を示せ

答 人口は平成18年の4万8897人が平成26年の4万4125人と4772人の減少、交流人口は平成26年に39万3654人と増加傾向、総生産額は、平成24年に1200億円と174億

円の減少。

問 分野別基本方向の検証について

答 中心市街地活性化基本計画は年度内の策定。名瀬の崎原と龍郷町戸口を結ぶ道路は課題が多く、計画自体の実現は困難。市立図書館の構想は、生涯学習の拠点施設の中に附帯施設として図書室を設け、ニーズに添える。

その他の質問事項

○陸自部隊配置における環境調査結果の公表

○学校給食センター建設の課題（危機管理体制）

保育士の処遇と現況と

保育士不足について

師 敏代（自民新風会）



動画視聴



問 保育士の処遇と現況と保育士不足について

答 保育従事者1044人の内正職員23人、臨時職員81人、臨時職員の有資格者47人、無資格者34人である。クラス担任の有資格臨時職員の賃金は月額14万5000円、担任でない有資格臨時職員は、13万4000円である。処遇改善に努めていきたい。無資格者の研修も検討していきたい。

問 住用町の要介護者の機能訓練の地域外送迎についての支援策は

答 住用地区にある施設で、理学療法士によるリハビリ、サービス内容の充実や訓練ができないか、移送サービスの検討など協議を進めていきたい。

問 人工内耳助成について

答 本市には、人工内耳体外機器装用者は3名と把握している。障がい者の日常生活用具に加えることが可能か、今後検討していきたい。

その他の質問事項

○未整備の農業集落排水事業の進捗状況と計画は

○山間山のオキナワウラジロガシ等生息地の道路等環境整備について

金久中学校体育館

工事工期遅れについて

川 幸義（自由民主党）



動画視聴



問 金久中学校体育館工事工期遅れについて

答 金久中学校体育館改築工事の工期延長に伴う授業への影響については、1学期間は体育館を使用する授業は貸切バスで名瀬運動公園総合体育館へ生徒を輸送して利用していた。今回の工期延長により9月の1カ月間体育館が使用できなくなったが、その間は体育祭の練習が主であることから、ほとんど体育館での授業はなく、グラウンドで授業を行う予定。

問 屠畜場建設について

進行状況は

答 検討委員会で、新設の方向での合意形成が図られたことから、奄美大島屠畜場あり方検討委員会については、本年7月に発展的に解散し、奄美大島食肉センター建設推進協議会を同じく7月に新たに設置し、奄振非公共での建設に向け、事業申請準備を進めている。

その他の質問事項

○市長の政治姿勢について

○小宿区画整理事業について

空き家対策について

現状と課題は

橋口 和仁
(自民新風会)



動画視聴



問 空き家対策について現状と課題は

答 昨年とほぼ同数の729件で、空き家物件提供の申し込みが30件ほど。今後は、所有者に移住・定住住宅リフォーム等助成金を活用して空き家の改修を行って頂くことを推進し、空き家バンクへの登録件数を増やし、空き家の減少につなげていきたい。

問 定住促進住宅建設に向けた取り組みは

答 使用されていない教員住宅や民間の空き家を

改修整備するなどして、名瀬地区18戸、住用地区4戸、笠利地区10戸の計32戸を定住促進住宅として整備している。

問 集落応援事業に於いて、人口を増やす取り組みとは

答 集落が主体的に取組み、実行までの支援をするもので、例えば、集落の空き家を活用した賃貸住宅の準備やお試し移住の家を整備することが考えられる。

その他の質問事項

○活性化協議会を母体とした取組みは

○赤木名・笠利線の復旧に向けた対策は

○防災対策に於いて、新たな個別受信機の設置はできないのか

奄美市総合計画について

林山 克巳
(自由民主党)



動画視聴



問 前期基本計画においての検証を踏まえた上での後期基本計画（平成28年～32年）の決意、また対策・施策について

答 人口5万人・交流人口45万人・総生産額1400億円の指標を目標に定め、産業振興に加え、インフラなどの生活環境の整備や福祉・教育の充実のための施策を『攻め』の総合戦略として取り組んでいる。

問 普通交付税と合併特例債の流れ、また奄美市における合併算定替と一本算定について

答 合併算定替は、3市町村（当時）の普通交付税の合算額を下回らないようにするための特例措置で、一本算定は、奄美市として算定するため、普通交付税額は減額となる。合併特例債の主な事業は、庁舎整備事業、末広港区画整理事業、学校・教育施設事業である。

問 第1次産業（農業）アボカドの取り組みと瀬戸内における取り組みについて

答 瀬戸内町では、本年度から苗木の半額助成を実施、奄美市でも、住用地区を含む地域で関係機関と連携し、前向きに検討する。

地域防災計画について

安田 壮平
(自民新風会)



動画視聴



問 今年改訂された「奄美市地域防災計画」について、災害予防の観点から何を優先的に進めるか

答 ソフト面では名瀬地区の自主防災組織の早期立ち上げを促したい。

問 今年、笠利町外金久で「地区防災計画」が策定されたが、他地域ではどのようにそれを支援するか

答 経費は市の自主財源となるが、外金久の地区防災計画をモデルとして策定を促進したい。

問 名瀬運動公園（三儀山）の施設整備について

答 平成23年から11億6512万円を投じて整備を行ってきた。一部の施設では改修や修繕が必要のため、有利な補助事業等を活用して引き続き計画的に整備を図りたい。

問 4年後の東京五輪・パラリンピックや鹿児島国体に向けて事前合宿の誘致を積極的に行うことは

答 県の「東京五輪等事前合宿誘致推進本部（仮称）設立準備会」に参加し、各種情報の収集・共有を図っている。施設整備が充実している陸上・野球・柔道等の競技を中心に誘致活動を行いたい。

被災者支援システムの導入について

さかえ
ヤスエ（公明党）



動画視聴



問 災害時の要援護者業務の対応と被災者台帳「被災者支援システム」の導入について

答 地域見守りネットワークづくりに取り組み、避難行動要支援者名簿作成を進めている。先進地の西宮市の取組みを参考にし、研究していく。

問 学校の屋内設置のAEDを屋外設置にできないか。24時間営業のコンビニ等への設置の推進はできないか

答 学校近隣の状況で判断する。コンビニ設置は、今後の検討課題。

導入について

問 「奄美市飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例」について

答 条例制定から5年経過し、市民からもネコ対策への様々な意見を頂く。奄美大島5市町村で構成の「奄美大島ねこ対策協議会」にて具体的な条例改正の検討中。8月26日に「奄美大島ネコ対策ワーキンググループ」において、専門家を招き先進地の条例と奄美市の条例を比較し意見を聞き、国、県、5市町村、民間団体で勉強会を行った。より実行性のある条例改正を図る。

ふるさと納税について

もとの
元野 景一（自由民主党）



動画視聴



問 ふるさと納税をより推進するために、奄美市全職員が、ふるさと納税を熱心に協力要請をするために、奄美市職員の名刺作成費用を予算措置し、ふるさと納税のPRに活用できないか、市としての意気込みを示してほしい

答 職員の名刺については、現在、各課でそれぞれ推進していく事業や今後、力を入れていく取組みなど、各課職員の想いを込めた名刺を自費で作成している。そのため、ふるさと納税PRのため

の名刺を全職員分作成するのは奄美市の予算措置としては困難と考える。名刺作成の工夫を職員にお願いすると同時に、まずは、ふるさと納税の担当職員がふるさと納税のPRができるような名刺を作成し、努力していくことだと考える。

その他の質問事項

○奄美市総合計画における公園、緑地の充実について

○赤崎公園活用について

○第2次奄美市行政改革実施計画について

地域おこし協力隊について

はしべろ
橋口 耕太郎（公明党）



動画視聴



問 地域おこし協力隊は平成21年度からの制度だが、今年度まで取り組まなかった理由と期待することは。

答 奄美市では、単独で「知の地域おこし連携事業」を実施。この事業は全国からの企画公募で選考された大学生を奄美市の臨時職員として雇用。学生たちは積極的に事業に組み込み刺激を受けた。全国的に「地域おこし協力隊」が認知されたことから、今年度6月より2名を採用。2名とも大変豊富な経歴や経験を持っているので、奄美市の課

題解決や活性化につなげてほしい。

問 バス停への屋根及びイスの設置について

答 今年度は観光客の多い、マングローブパーク内に設置予定。歩道幅の狭い市街地は、設置が困難な場所が多い。

問 オリジナル婚姻届について

答 婚姻される方の記憶に残る、奄美らしいオリジナル性のある婚姻届の作成について検討したい。

その他の質問事項

○庁舎内への総合案内の設置

○文化センターへの駐車場の整備

自衛隊基地配備の

説明責任について

三島 照 (日本共産党)



動画視聴



問 市長は自衛隊基地配備の説明責任をいつ果たすのか

答 市全体を対象とした説明会の開催については予定していない。

問 少子化対策について、学童保育の待機児童の実態は

答 民間託児所などの聞き取り調査で現在小学生を預かっている民間託児所は4施設あり児童数は29人と把握している。

問 民間クラブへの助成をすべきと思うが検討できないか

答 現在の放課後児童ク

ラブの保護者の意向や状況などを調査し現在の児童クラブの定員拡大等も含めたうえで、検討していきたいと考えている。

問 市集落の安心・安全対策について6月議会以降どう対応されたか

答 岩石採取現場内の集水路と森林部の沢からの水路を分離した排水施設についても年内には設置予定と伺っている。また、市道側から5号沈砂地6号沈砂地が設置されている。

大学誘致の調査

活動状況について

平川 久嘉 (自由民主党)



動画視聴



問 大学誘致の調査活動状況について

答 奄美大島総合戦略の事業として5市町村の負担金を活用して実施、事務局を市企画調整課が担い、会議や連絡を密にして進めていく。調査においては奄美の特徴を整理し人材育成を検討し、島内外の学生が魅力を感じ、特色ある大学を目指す。

問 あやまる公園自然環境の整備事業について

答 あやまる公園の台地整備について基本構想や基本計画に対する多くの助言や意見を受け、現行

の事業に加えて別事業を検討し奄美北部地域の観光振興や交流人口の拡大に繋がる整備計画を進める。

問 奄美市地域防災計画の改訂について

答 新たに南海トラフ地震の防災対策推進計画を追加、これまでのハード対策にソフト対策として減災の考え方を加え、避難勧告発令基準の明確化や住民への避難伝達方式等の充実を図った。市民の意識啓発として、避難訓練参加、備蓄、自主防災組織やボランティアなどを明確化した。

奄美間のLCC就航

について

戸内 恭次 (無所属)



動画視聴



問 奄美間のLCC就航について

答 新規路線の開設に向けて現在就航しているLCC会社に要請をしている。

問 関西便LCCへの資金提供について

答 関西便LCCへの奄振交付金の活用を検討する。

問 奄美格安航空(LCC)基金を創設して、路線の継続維持とLCC拡大を計るべきではないか

答 LCC基金の設立は、公金を一部の営利企業へ投入することを前提と考え

られることから困難であると判断している。

問 文化センター長浜埠頭の歩道整備について

答 舟溜りの奥のルートは歩道のみ整備予定である。

問 市内の公園のトイレを洋式トイレにできないか

答 地域住民からの要望なども勘案しながら検討して行きたい。

問 まちづくりで16m幅の道路に、集客を図るためアーケード街にすることはできないか

答 様々な課題があるので地元の意識が醸成され、商店街の要望があった際に、改めて検討していく。

世界自然遺産登録について

つばた まこと
津畑 誠（無所属）



動画視聴



業4社八市の産業創出プロジェクトが訪問している。

問 世界自然遺産候補地である奄美大島地域の特性を踏まえ、上乘せ条例「奄美市赤土等流出防止条例」の制定について

答 大島支庁主催の協議会等において、現地巡回や赤土流出防止対策工法の研修会を行い、公共工事等における赤土流出防止対策についても、対応は充分なされており、条例の制定は考えていない。

問 企業版ふるさと納税で、訪問した企業数及び訪問した各企業の概要について

答 関東の1丁関係の企

あたえ かつひろ
与 勝広（公明党）



動画視聴



問 市長の二期目のマニフェストの成果について

答 平成26年3月の奄振法の歴史的な改正・延長が挙げられる。

問 奄美市ふるさと納税の総額及び寄附者に占める奄美市出身者の割合はどうか

答 8月末現在、申込件数が466件、寄附金額が1276万5000円、出身者の割合は約1割となっている。

市長の2期目のマニフェストの成果について

合併以降の財政健全化に伴って実現することができたほか、誇れる奄美市づくり宣言として公立学校の耐震補強を積極的に推進し、今年度で耐震化率100%を達成する見込みとなっている。さらに世界自然遺産登録や「末広・港」「マリントウン」事業の推進、住用・笠利地域の観光振興プロジェクトなど、着実に事業をすすめている。今後ともマニフェストの成果が確実にあがるよう、引き続き邁進していく。

末広・港土地区画整理事業について

さきた のぶまさ
崎田 信正（日本共産党）



動画視聴



問 買い物弱者という言葉葉があるが、佐大熊地域をどうみるか

答 タイヨー佐大熊店が閉店して以降、小規模な商店はあるが、以前に比べて不便な状況が続いていることは事実。

問 末広・港土地区画整理事業で街並み形成の話合いはどうなっているか

答 末広・港線道路デザイン会議の提言は、道路の構成や色彩、街灯のデザインなど南国感が溢れる内容となっている。より「奄美らしさ」を感じられる魅力ある街並みの

形成に商店街と連携を図りながら取り組む。

問 末広・港土地区画整理事業によって、以前バスが通ると答弁しているバス停の位置や路線などバスの運行計画はどうなっているか

答 利用者のニーズや実態調査を踏まえながら検討する必要がある。来年度、奄美大島全体の地域公共交通の在り方を踏まえた路線全体の見直しについて関係機関も含めて協議する必要があり、末広・港地区の運行計画についても議論したい。

青少年スポーツ活動

支援について

まつやま
松山 さおり（無所属）



動画視聴



問 県大会遠征の支援拡充について

答 本市では年1回実施される鹿児島中学校体育連盟主催の鹿児島県総合体育大会及び鹿児島県吹奏楽連盟主催の吹奏楽コンクールや夏の祭典に参加する生徒を対象に補助を実施している。平成27年度に県大会に参加した生徒数については514名となっており、1人当たり片道の船代にあたる6365円を補助している。今後、県大会に出場する生徒への支援について、拡充できないか検討していきたい。

問 ふるさと納税の使途計画について

答 ふるさと納税を県大会支援に活用できるかは今後の検討課題としていきたい。

問 ノネコ・野良猫対策の市民への周知について

答 市のホームページや奄美市だよりにおいて周知を図るとともに、将来を担う子供たちに対する啓発活動も関係機関、担当部署とも連携し、取り組んでいきたい。

問 現物給付方式の導入について

答 知事がマニフェストの中で子供医療費助成制度の現物給付方式の導入を掲げているので、県の今後の動向も見守りながら「子供医療費助成制度」「ひとり親家庭医療費助成制度」などの現物給付方式の導入に向けて県や他市町村と連携して検討していきたい。

「ミカンコミバエ問題」に関する特別委員会の最終報告書を市長へ提出しました。

9月5日に開催された平成28年第3回定例会本会議において、「ミカンコミバエ問題」に関する特別委員会の最終報告が行われました。

本会議終了後、議長から市長へ最終報告書を提出し、今回の問題点の検証及び再発防止を強く要望しました。なお、同報告書を県にも送付しました。



議会報告会を開催しました。

10月20日に市内3地区で議会報告会を開催いたしました。

ご来場くださいました皆様ありがとうございました。意見等は、議会だより次号にて紹介させていただきます。



名瀬会場の様子

第 3 回 定 例 会 の 主 な 議 案

議案等番号	件 名	議決結果	付託委員会
報告第 5 号	専決処分の承認を求めることについて (専決第 9 号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)	承認	本会議
発議第 6 号	人口内耳を補装具として対象品目に加えることを求める意見書の提出について	原案可決	本会議
議案第 77 号	平成 28 年度奄美市一般会計補正予算（第 2 号）について	原案可決	全委員会
議案第 78 号	平成 28 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について	原案可決	文教厚生
議案第 79 号	平成 28 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算 (第 2 号) について	原案可決	文教厚生
議案第 80 号	平成 28 年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）について	原案可決	文教厚生
議案第 81 号	平成 28 年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について	原案可決	産業建設
議案第 82 号	平成 28 年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）について	原案可決	産業建設
議案第 83 号	平成 28 年度奄美市水道事業会計補正予算（第 2 号）について	原案可決	産業建設
議案第 84 号	奄美市笠利大島紬共同のり張場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第 85 号	工事請負契約の締結について	原案可決	総務企画
議案第 86 号	工事請負契約の締結について	原案可決	総務企画
議案第 87 号	工事請負契約の締結について	原案可決	総務企画
議案第 100 号	監査委員の選任について	同意	本会議

請 願 ・ 陳 情 の 処 理 状 況

受理番号	件 名	提 出 者	議決結果	付託委員会
請願第 3 号	学校給食センターを性急に建設しないよう求める請願	子どもたちの健康と権利を守る保護者の会 岡 千草	不採択	文教厚生
陳情第 3 号	奄美市独自による自衛隊配備に関する説明会開催の陳情	戦 争 の た め の 自 衛 隊 基 地 配 備 に 反 対 す る 奄 美 ネ ッ ト 代表 城村 典文	不採択	総務企画

○前定例会からの継続審査処理状況

受理番号	件 名	提 出 者	議決結果	付託委員会
平成 27 年 陳情第 16 号	「商店版リフォーム助成制度の創設」を求める陳情	奄 美 民 主 商 工 会 事務局長 岡田 美幸	採 択	産業建設
平成 27 年 陳情第 17 号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情	新 日 本 婦 人 の 会 奄 美 支 部 支部長 荒田 まゆみ	不採択	総務企画
陳情第 2 号	「奄美に大学を設置する審議会」の発足に関する陳情	自 然 と 文 化 を 守 る 奄 美 会 議 大津 幸夫	継続審査	総務企画

第3回定例会 常任委員会の審査概要

第3回定例会における常任委員会では、9月13日に文教厚生・産業建設、14日に総務企画のそれぞれの委員会で議案・陳情等について審査しました。常任委員会での審査についてご紹介します。

総務企画委員会

総務企画委員会では、議案4件、陳情3件を審査し、議案4件を原案のとおり可決すべきものと決し、陳情3号、平成27年陳情第17号を不採択とし陳情2号を継続審査としました。

一般会計補正予算の主なものとして、積立金として4000万円はふるさと納税寄付金1億円に係る事務委託料や決済手数料等の必要経費6000万円を差し引いた4000万円を積立金として計上したとの説明がありました。委員から、ふるさと納税の積立の累計はいくらなのか。そ

して五つの積立額の金額はいくらなのかの質疑に対し、当局から1集落1ブランド事業が約550万円、12%。人材育成が同じく約550万円、12%。地域文化の保存が470万円程度11%。定住促進対策が110万円程度3%。その他約2783万、62%。27年度末累計約4479万円との答弁がありました。また積立金の活用については、奄美らしさをPRできるような事業がありましたら検討して取り組みたいとの答弁がありました。

更に、ふるさと納税の控除額についての質疑があり、27年度中は金額が1132万9000円、市民控除額が445万632円との答弁でありました。

次に委員から本庁舎の新築工事に対し、制限付き一般競争入札にした理由についての質疑に対し、今回庁舎内で庁舎建設工事発注検討委員会を設けており、その中で透明性や客観

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案4件、請願1件を審査し、議案4件を原案のとおり可決すべきものと決し、請願1件は、不採択とすべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、医療支援給付費として939万9000円、地域介護・福祉空間整備推進交付金として276万3000円、介護支援専門員賃金として183万1000円、各種予防接種業務委託料として485万円、教職員住宅修繕料として100万円、自主文化事業委託料として496万

円、奄美遺産活用実行委員会貸付金として124万8000円、太陽が丘運動公園工事請負費として3869万円を計上した等の説明がありました。

地域介護・福祉空間整備推進交付金について質疑があり、3事業所が腰に装着するロボットとベクトルセンサーを導入するとの説明でした。太陽が丘運動公園すばく笠利の今後の活用方法について質疑があり、芝生を二面にした多目的広場に改修し、フットサル・グラウンドゴルフ・弓道の遠的などができるように整備をすすめるとの説明でした。

国民健康保険事業特別会計補正予算については、システム改修について質疑があり、平成30年度から広域化になるため、県が導入するシステムに市の情報を提供するためのシステムの改修費用との説明でした。

介護保険事業特別会計補正予算の主なものとして社会福祉士賃金として183万1000円、市認定ヘルパー養成講座業務委託料として86万4000円、国・県・支払基金給付費返納金として5924万1000円を計上

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案5件及び陳情1件を審査し、議案5件はすべて原案のとおり可決すべきものと決し、陳情1件を採択すべきものと決しました。

した等の説明があり、市認定ヘルパーについての質疑に、市独自の制度で、地域の中で簡単な介護を担うもので有資格ヘルパーの負担軽減を図るものと説明がありました。

一般会計補正予算の主なものとして、委員から、奄美市農業研究センターでの研究内容について質疑があり、当局より新規就農支援、担い手の栽培技術の育成、市から委託を受けた土作り関係、パッション等の苗の育成及び農家への供給、防風林のなえ木の育成及び農家への供給業務等を行っているとの答弁がありました。また委員から、緊急地方道路整備事業費の設計業務内容について質疑があり、今年度は、用地買収、設計業務委託及びボーリング調査を計画しているとの答弁がありました。

議員研修会

平成28年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算について、特定環境保全公共下水道事業赤木名地区の進捗率について質疑があり、進捗率は汚水管路の延長ベースで全体の約13%、赤木名の中心の県道の拡張改良に伴い工事を順次進めていくとの答弁がありました。

平成28年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算について、同意率90%の根拠について質疑があり、集落排水を県に要望する際に、事業導入したら加入しますという90%以上の同意が事業申請に必要なとなっている。導入後3年をめぐって70%の加入率をめざしているとの答弁がありました。

平成28年度奄美市水道事業会計補正予算について、自衛隊配備に関する施設整備の負担割合について質疑があり、今回の拡張工事そのものが自衛隊に直接起因するものであり、また他市の事例から、防衛省の負担の方向で進めているとの説明がありました。

奄美市議会は、毎年議員研修会を行い議員の資質の向上に努めています。

本年度は、8月22日（月）市役所4階大会議室で開催しました。

講師に（合）地球村研究室代表社員の石田秀輝氏（東北大学名誉教授・知名町在住）を招き「心豊かな暮らし方のか・た・ち」をテーマに講話をしていただきました。議員、市役所職員、奄美群島広域事務組合の職員や一般市民の45人が参加しました。

講話の中で石田氏は、「現代社会は、人間活動の肥大化により地球環境の劣化と物質的消費欲求の劣化が見られ、地方では人口減・財政難など様々な制約・問題に直面している。これまでと足場を変えた思考方法（バックキャスト思考）による持続型社会の創造などを提唱。また、自然（生命）という土台の上に共同体があり、さらにその上個人（人）があり成り立っている。

人を自然や共同体という土台にもう一度つなぎとめることが持続型社会の定義と主張。決して『昔の暮らしに戻れ』と言いたいのではない。地球環境と豊かな暮らしを天秤にかけるのではなく、厳しい地球環境制約の中でワクワクドキドキする『心豊かな暮らし方のかたち』をつくっていくという考え方が大事』と訴えました。

今後、市議会として貴重な生物が生きる環境を維持するため生態系全体の管理手法にまで踏み込んでいく「生態系管理型」、生物多様性に支えられた伝統的な人々の暮らしや営み、文化そのものを守り、住民と利用者がともに楽しみ、ともに守る「環境文化型」の奄美群島国立公園（仮称）を目指す本市の取り組みや自然との関わり方の参考にしていきたい。

講話の中で石田氏は、「現代社会は、人間活動の肥大化により地球環境の劣化と物質的消費欲求の劣化が見られ、地方では人口減・財政難など様々な制約・問題に直面している。これまでと足場を変えた思考方法（バックキャスト思考）による持続型社会の創造などを提唱。また、自然（生命）という土台の上に共同体があり、さらにその上個人（人）があり成り立っている。



あなたのまちの議会を間近で見ませんか！！

平成28年第4回定例会は12月5日開会です。

一般質問は、12月6日から9日までの予定です。（質問者は未定）

議 会 の 動 き

- 平成28年 8月 2日 平成28年度奄美市学力向上フォーラム
 3日 議会運営委員会
 4日 市町村政研修会（鹿児島市）
 5日 関西名瀬連合会歓迎の夕べ
 10日 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会（沖縄県）
 15日 住用町戦没者慰霊祭
 名瀬戦没者合同慰霊祭
 22日 奄美市議会議員研修会
 27日 奄美大島商工会議所青年部創立30周年記念式典並びに祝賀会
 30日 議会運営委員会
 9月 5日 奄美市議会第3回定例会開会、全員協議会
 6日 一般質問 奥議員、西議員、関議員、師玉議員、川口議員
 7日 一般質問 橋口（和）議員、林山議員、安田議員、栄議員、元野議員
 8日 一般質問 橋口（耕）議員、三島議員、平川議員、戸内議員
 9日 一般質問 津畑議員、与議員、崎田議員、松山議員
 11日 はつらつママさんバレーボール in 奄美
 12日 本会議
 13日 常任委員会（文教厚生・産業建設）
 14日 常任委員会（総務企画）
 「芦穂の里」敬老会
 15日 「和光園」敬老祝賀会
 19日 奄美市敬老の日祝賀会
 23日 最終本会議
 10月 5日 一般・特別会計決算等審査特別委員会
 6日 一般・特別会計決算等審査特別委員会
 全員協議会
 7日 一般会計決算等審査特別委員会
 9日 第57回住用地区体育祭
 15日 金久中学校体育館落成式典及び祝賀会
 16日 平成28年度招魂祭及び笠利町招魂祭相撲大会
 22日 にしのみや市民祭り（兵庫県）
 23日 第56回近畿笠利会総会・敬老会（兵庫県）
 30日 小湊小学校新校舎落成記念学習発表会及び祝賀会

編集あとがき

平成15年に、奄美群島・琉球諸島が世界自然遺産候補地として選出されてから、十有余年が経過し、紆余曲折を経て、朗報が10月6日に環境省より、国立公園化区域案が公表され、世界自然遺産登録の実現に胸を弾ませた。これまで、環境省を初め、学識経験者等各分野の著名人から、遺産価値の理解促進、地域住民の機運の醸成を図るなどの広域的な研修会が開催されてきた。

世界自然遺産とは、地元の人が地域を知ること、探索することは欠かせないことを知った。最近の基調講演等で、マンガースバスターズの取組が評価された。外来種の動植物の根絶はもとより、野ネコ、野良ネコ対策を進めていくことが、世界自然遺産登録へのキーワードであることを示唆した。又、奄美と沖縄の自然・文化・歴史の違いを知り、ともに改めて学ぶことができた。

（師玉敏代）

市議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

師玉 敏代
松山 さおり
関 誠之
安田 壮平
崎田 信正
伊東 隆吉
橋口 耕太郎
林山 克巳

奄美市議会ホームページアドレス <http://www.city.amami.lg.jp/gikai/shiss/shigikai/index.html>